

磐城森林管理署における 海岸防災林の再生活動について

国有林

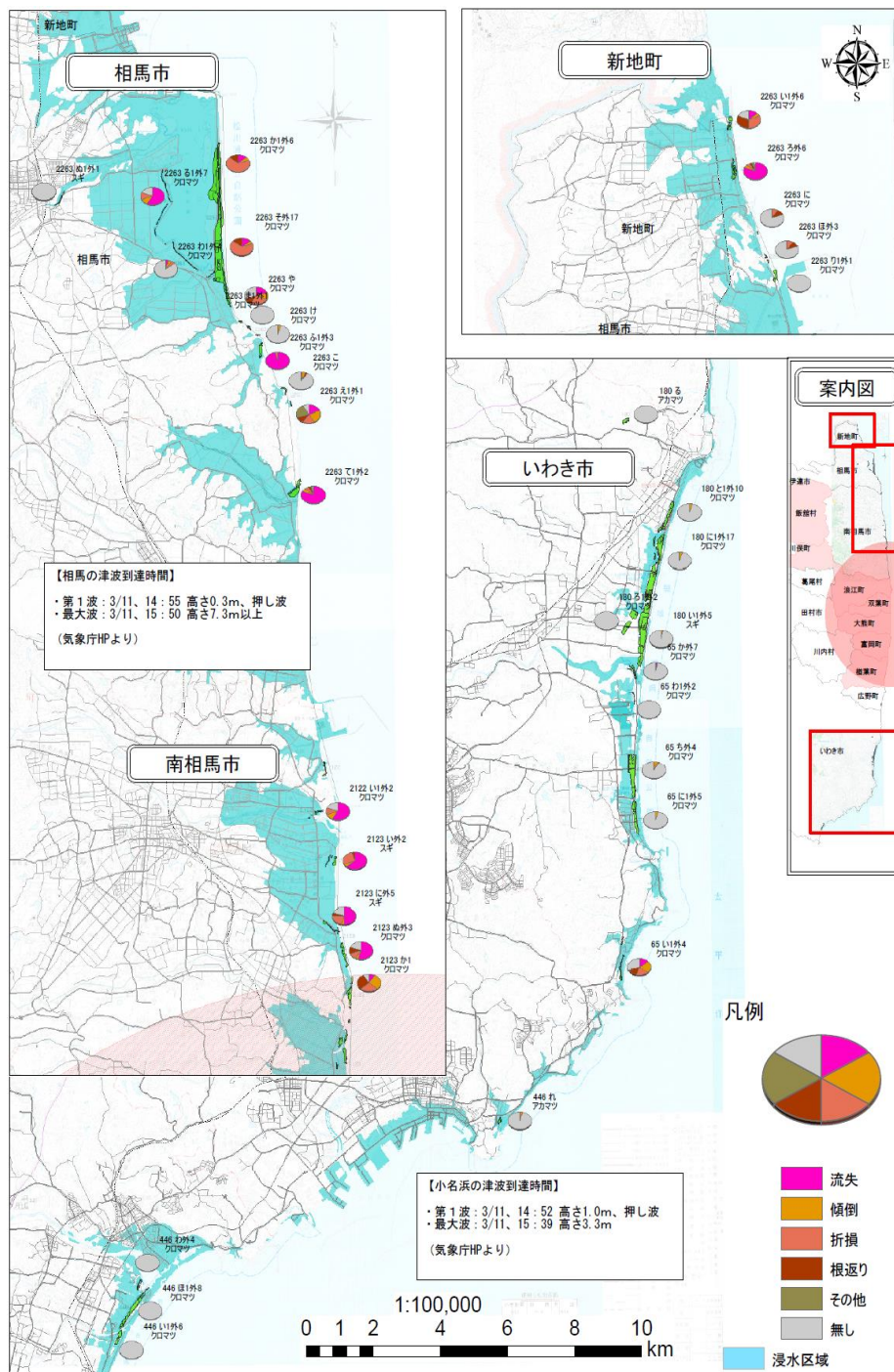
海岸防災林再生シンポジウム
平成29年1月31日（火）

被害状況 1



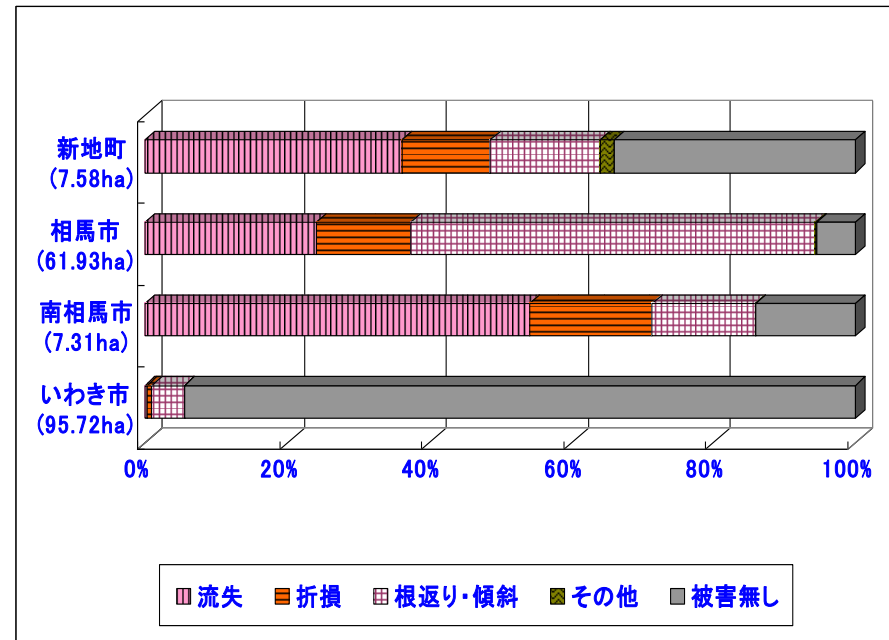
被害状況 2





被害まとめ

(被災当時の調査状況であり、東京電力(株)福島第一原子力発電所から半径20km範囲内は未調査。)



復旧状況



①防潮盛土:相馬市松川浦



②伐倒処理・植栽:いわき市新舞子



③天然下種更新:南相馬市



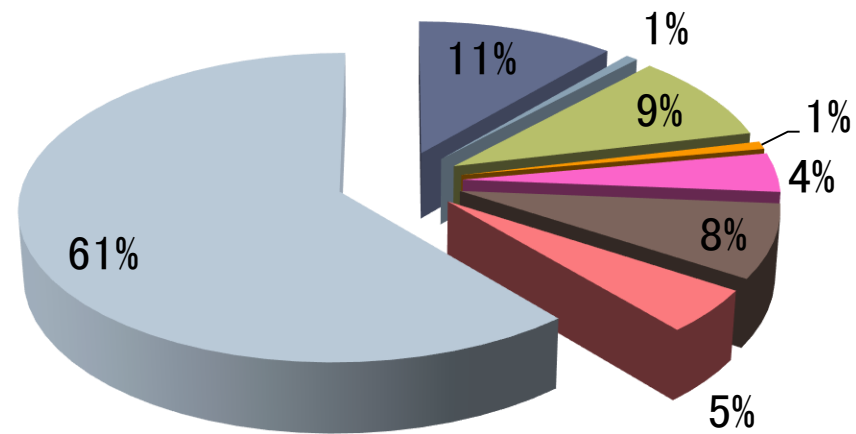
④防災緑地:新地町

防潮盛土以降の復旧



植栽工面積

- 平成26年度(H25明許) 治山事業
- 平成26年度 治山事業
- 平成27年度 治山事業
- 平成26年度 社会貢献の森
- 平成27年度 社会貢献の森
- 平成28年度 治山事業
- 平成28年度 社会貢献の森(公募中)
- 平成29年度以降植栽



抵抗性クロマツ
(コンテナ苗)を植栽

はぜっ子倶楽部

東日本大震災により壊滅した松川浦の森林の再生と
未来に向けた森づくり



<概要>

○平成27年4月29日

10月4日

○2, 250本(クロマツ)

○はぜっ子倶楽部会員・日本
野鳥の会福島県相馬支部会
員・ボランティア

<特徴>

☆「はぜっ子倶楽部」は、松川浦の環境保護を目的とした活動を行う倶楽部で、ラムサール条約登録のために尽力。

☆条約の潜在候補地に選ばれた矢先の震災でフィールドが壊滅。

☆再生への一歩として国有林での植林に参画。動植物観察会や植栽後の勉強会も開催

50年先の白砂青松のために 松川浦 希望の森



講師とクロマツ苗の勉強会



自然観察会

イオン株式会社

被災地支援を目的としたイオン 東北復興ふるさとの森づくり



<概要>

○平成28年4月14日

4月23日

○7,500本(クロマツ)

○イオン心をつなぐプロジェクト
スタッフ、地域ボランティアが
大半約200名(小学生、地元
個人ボランティア)

<特徴>

☆イオングループとしては、12年度から10年間に被災地で30万本の植樹に取り組む予定。15年度までに51箇所、延べ146,279本を植樹

☆植樹活動を通じて地域の皆様との交流を深め、森を育みながら人と人がつながり自然豊かなふるさとが復興することを目指す

イオン東北復興ふるさとの森づくり



開会式



看板

セブン-イレブン記念財団

相馬市大洲海岸防災林の再生活動に協力
し、地域の活性化に貢献する



<概要>

- 平成28年10月2日
- 1,500本(クロマツ)
- 東北地区セブン-イレブンスタッフ、地域ボランティア約50名

<特徴>

- ☆周辺のセブン-イレブン加盟店、本部社員が一体となって、防災林の再生活動に協力
- ☆2012年から森林保全プロジェクト「セブンの森」への取り組み

地球温暖化防止、生物多様性保全に貢献する



相馬ライオンズクラブ

被災した地元の松川浦海岸防災林の復旧復興再生に向けて活動



<概要>

○平成28年 5月 7日

10月15日

○750本(クロマツ)

○相馬ライオンズクラブ会員、
地元ボランティア 16名

<特徴>

☆関東森林管理局の取組趣旨に賛同し、ライオンズクラブのモットーである
「われわれは奉仕する」に従い活動

☆相馬市のスポーツ大会等各種大会を開催やごみ清掃活動(年2回)も実施

「われわれは奉仕する」



特定非営利活動法人 DO55

東日本大震災により被災した東北復興支援活動



<概要>

○平成28年5月29日

○750本(クロマツ)

○ DO55スタッフ、
地元大学生、留學生、高校生、中学生ボランティア
約80名

<特徴>

☆「NPO法人DO55」とは、早稲田大学ESSクラブ55歳以上のOB・OGが中心となって設立。

☆DO55は、被災地支援を目的として、除染や物産販売会や、植林活動を行っているボランティアからなる団体。

募金協力者のクロマツ苗を復興に



国土防災技術株式会社

海岸防災林のボランティア植樹に参画し一層の社会貢献を図る



<概要>

- 平成28年6月2日
- 750本(クロマツ)
- 国土防災技術株式会社、
JCE協力会 30名

<特徴>

- ☆国土防災技術株式会社(JCE)は、災害調査や関連治山事業調査などに取り組んできた。少しでも恩返しをするため、植栽に参画
- ☆「技術で社会に貢献すること」が会社の目的で、創業50年を迎える今日でも、またこの先ずっと「会社を支える人材は変わろうと会社は永遠でなければならない」という創業者の固い信念を社是として、維持・継続。

「JCE希望の森」で松川浦海岸防災林再生に取り組む

JCE希望の森

(2016年6月2日植樹)

松川浦は、福島県内唯一の潟湖(湾口に発達した砂州により外海から隔てられ湖沼化した地形)です。大小の島や岩が点在する風光明媚な風景は、「小松島」とも評され日本百景の一つに数えられています。古くは相馬藩の休遊所として栄え、1951年には県立自然公園に指定され、その後、1987年の「日本の白砂青松100選」、2001年の「日本の重要湿地500」にも選定されました。

こうした美しい松川浦のマツ林は、人々の生活を支える海岸防災林としても機能しておりましたが、2011年3月の東北地方太平洋沖地震に伴う巨大津波により、壊滅的な被害を受けました。私たちは、ここ「JCE希望の森」での活動を通じて、松川浦の海岸防災林の再生に向け取り組んでいきたいと思います。



 国土防災技術株式会社・JCE協力会



新聞記事

福島民友
平成28年5月8日(月)

防災林 再生目指す

相馬LC苗木植樹

東日本大震災の津波で流失した相馬市磯部の防災林を再生させようと、相馬ライオンズクラブ(LC)、佐藤順会長)は7日、現地にクロマツの苗木400本を植樹した。メンバーが将来の松林を想像しながら、丁寧に作業に取り組んだ。関東森林管理局のボランティアの呼び掛けに応じて実施。メンバー約10人が沿岸の風を感じながら、高さ約30センチの苗木を植えた。メンバーは「白砂青松」の景勝地で知られた松林の再生に向け汗を流していた。同じ日は10月にも現地にクロマツの苗木300本を植樹する。



丁寧に植樹するメンバー

松川浦(大洲国有林)でのボランティア植樹関連記事



順事に成長することを願い、丁寧に植樹する参加者

相馬市磯部の海岸林再生へ

クロマツ 1500本植栽

「白砂青松」の景勝地を失った相馬市磯部の松川浦(大洲国有林)で、29日、松の植栽が行われた。参加者は海岸林の再生を願い、クロマツを植えた。

県内外 200人参加

この日は、東京、京都など県内外から約200人が参加した。松川浦の海岸で、高さ40センチほどのクロマツを海岸に丁寧に植えた。植えた木の脇には名前やメッセージを記した木製

君が小3の時、3年間は早く大きくなってほしいと期待した。はげっ子倶楽部の新妻善雄代表は、予想以上に多くの人に参加してくれたと感謝した。

福島民報(第2面)
平成27年4月30日(木)

松川浦海岸防災林の再生に向けた活動希望者の募集

1 趣旨

関東森林管理局では、東日本大震災の津波により失われた松川浦の松林の再生に向け海岸防災林の植樹活動に取り組んでいただける地方公共団体、民間団体の皆様を募集してまいります。

2 募集

関東森林管理局は、来年度以降も相馬市磯部字大洲国有林に植樹場所を設定し、植付けいただける皆様をホームページに掲載して募集する予定です。

また、福島県森林・林業・緑化協会ホームページへもリンクしています。

3 留意事項

植樹活動の実施にあたりましては、活動される団体と磐城森林管理署長との間で協定を締結していただきます。協定の期間は、災害跡地の復旧等を目的とした植栽活動等であり、成林が見込めるまでの5～10年間で計画を作成していただくことになります。

協定を締結し、活動計画を提出していただいた後に、協定等を公表いたします。

〈問合せ・申込先〉

〒371-8508 群馬県前橋市岩神町四丁目16番25号

関東森林管理局 技術普及課

電話 027-210-1176